

自分の考えを深める 研究の視点

視点①

単元や学年のつながりを意識した言語活動・数学的な活動を位置付けます。

単元のつながりを
指導案上に明記

2 単元構想

単元の目標	【知・技】概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。						
	【思・判・表】日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数の処理する良さについて考え、説明している。						
	【態】 日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。						
領域	数と計算						
	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年 中1
	項目				大きい数のしくみ がい数の表し方と使い方 小数のかけ算とわり算	小 数のわり算	
系統性	【これまでの学習】 第3学年までの加法や乗法の学習で、計算の結果を見積もったり、第4学年のわり算の筆算の学習で、除数を何十とみて仮商をたてたり、長さやかさ、重さなどの測定値を読み取ったりする際に、およその見当を付けることを経験している。						
	【今後に向けて】 除法の商の処理や、グラフをかく際に目盛りの単位に数を含ませる場合に用いる他、見当を付けるなど数を用いた判断や考察に広く生かされるものである。						

ロイロノート
の共有座席表を
使い、前時・本時
を振り返る

視点②

導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用を自覚し、見通しと目的、思考方法の有用感をもつ場面を設けます。

振り返りを掲示し、学
びを共有

他者評価で自分の学
びのよさを実感

視点③

- ・他と関わりながら協働的に思考する交流活動を設定します。
- ・思考方法に合わせた思考ツールや ICT の活用・思考表現等、手立てを工夫します。

ツールに考えを位置
付け共有

課題解決場面で意見
交換しながら考えを深
める様子